

公共事業再評価事業別調査

担当所属	農林水産部 農村整備課
再評価実施要件	未着工 長期継続(農林水産省5年) その他()

1 事業の概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県 市町村 其他()					
事業名	県営一般農道整備事業	地区名等	淋代平					
事業区分	補助事業等 単独事業	負担区分	国 50% : 県 25% : 市町村 25.0% : 其他 %					
採択年度	9 年度 (用地着手 10年度、工事着手 10年度)							
終了予定	15 年度 (-年 -月計画変更<計画時 13年度>)							
事業目的	三沢市の主要な水田地帯に位置するこの地域では、水稲、畑作及び畜産の複合経営が行われており、長芋、人参、馬鈴薯が主な作物となっている。しかし、幹線となる農道は幅員狭小で砂利道のため、近年大型機械化に伴う通作と農作物の運搬に多大な支障を来している。このため、本路線を整備し、農作物の荷痛みの軽減と、東部上北広域農道を活用した農作物流通の合理化を図るものである。							
主な内容	農道 L = 2,040m							
事業費	採択時総事業費 272百万円 単位：百万円							
		~H11年	H12年	H13年	H14年	小 計	H15年~	合 計
計 画	164	54	54		272		272	
(うち用地費)	(6)	(1)	(1)		(10)		(10)	
<-年-月変更>								
実 績	52	100	74	20	246	26	272	
(うち用地費)	(8)		(2)		(10)		(10)	
その他	同意率(採択時 97.6%)							

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

AA・A・B・C

事業の進捗状況	単位：%		
	計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗	
事業費割合 (うち用地費)	90.4% (100.0%)	90.4% (100.0%)	
工種毎割合 (主要工種)	農道工(路盤工)	100.0%	
説明	ほぼ年次計画どおり進捗している。		
問題点・解決見込	なし		
事業効果発現状況	路盤工事を完了した区間から供用を開始しており、所期の事業効果を十分に発現している。		

(2) 社会経済情勢の変化

AA・A・B・C

社会的評価	<p>全国：食料自給率を向上させるため、農業の生産基盤を整備し、農家の経営安定を図ることが重要である。</p> <p>県内：県内の農道舗装率はH13年度で9.0%にとどまっており、今後とも農道整備の推進が重要である。</p> <p>地域：本地域は小川原湖東部に広がる水田地帯である。本農道は米、長芋、人参、馬鈴薯等の効率的な運搬と荷痛みの軽減を図るため、地域農家から早期完成を要望されている。</p>
-------	--

予算動向	国：H14/H9=60% 公共事業費が削減されているため、予算が大幅に減少している。 県：H14/H9 = 150% 国の公共事業費が削減されている中、本県では事業の平均工期の短縮を図るため、事業費を重点的に配分している。										
必要性等	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>再 評 価 時</th> <th>左の説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性及び重要性</td> <td>本農道は、幅員狭小で砂利道なため、地域農家から整備を強く要望されており、農業経営の安定を図る観点から、早期整備が必要である。</td> <td>同 左</td> <td>農業振興を図る観点から、本農道整備の必要性・重要性は計画時、再評価時ともに高い。</td> </tr> </tbody> </table>		計 画 時	再 評 価 時	左の説明	必要性及び重要性	本農道は、幅員狭小で砂利道なため、地域農家から整備を強く要望されており、農業経営の安定を図る観点から、早期整備が必要である。	同 左	農業振興を図る観点から、本農道整備の必要性・重要性は計画時、再評価時ともに高い。		
	計 画 時	再 評 価 時	左の説明								
必要性及び重要性	本農道は、幅員狭小で砂利道なため、地域農家から整備を強く要望されており、農業経営の安定を図る観点から、早期整備が必要である。	同 左	農業振興を図る観点から、本農道整備の必要性・重要性は計画時、再評価時ともに高い。								
その他	な し										

(3) 費用対効果分析の要因変化

AA・A・B・C

費用対効果分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>再 評 価 時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用 (C)</td> <td>287 百万円</td> <td>287 百万円</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>効果 (B)</td> <td>303 百万円</td> <td>303</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>B / C</td> <td>1.06</td> <td>1.06</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		計 画 時	再 評 価 時	増 減	費用 (C)	287 百万円	287 百万円	-	効果 (B)	303 百万円	303	-	B / C	1.06	1.06			
	計 画 時	再 評 価 時	増 減																
費用 (C)	287 百万円	287 百万円	-																
効果 (B)	303 百万円	303	-																
B / C	1.06	1.06																	
変化内容	費用：変化なし 効果：変化なし																		
B/Cへの影響	な し																		

(4) コスト縮減・代替案立案の可能性

コスト縮減の可能性	な し
代替案の可能性	な し

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

住民ニーズ把握状況	市農業の中心的地域の幹線農道の整備であり、東部上北広域農道を活用した農作物流通の合理化と農作業の効率化を図るために、地域農家から早急な整備を要求されている。
環境影響への配慮	切土部及び盛土部の法面を緑化し、自然環境に配慮している。
地域特性	な し

3 対応方針（事業実施主体案）

総合評価	継続 見直し継続 中止 休止（農林水産省所管事業に限る）
評価理由	本事業は、地域農業に果たす役割が大きいことから、地元要望を踏まえ平成15年度の完成に向け継続して実施する。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり 対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続 見直し継続 中止 休止（農林水産省所管事業に限る）
評価理由	
附帯意見	